カートリッジの交換方法

超水

MW-1000R

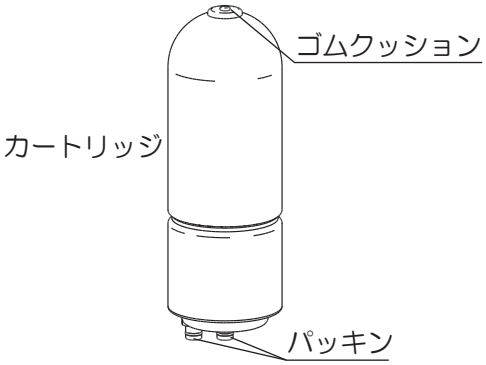
π WATER SYSTEM PRODUCED BY ACM

210719

カートリッジの交換方法

1

交換セット内容



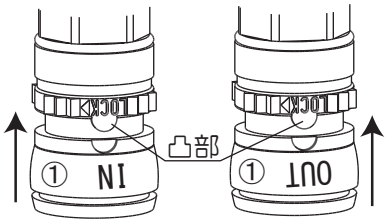
※水の検査用

残留塩素測定試薬
（1包1回分　5包入）

ご注意　残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないよう注意して下さい。

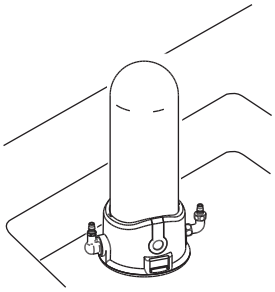
（1）カプラを外して本体を流し台のシンク内に入れて下さい。（本体より水がでてくるため）

ご注意　本体は重いためお取り扱いには、充分に気をつけて下さい。



本体にセットされているＩＮ/ＯＵＴのカプラを外します。

リングの凸部を下リング溝の位置に合わせ①の部分を上に持ち上げると外れます。



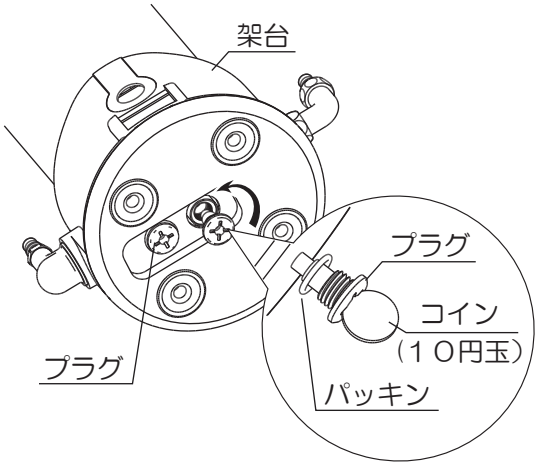
（2）本体内の水を抜きます。

ａ本体を斜めにし、本体底の２つのプラグをコイン（10円玉）により取り外して下さい。
（カバーキャップは付けた状態で行って下さい）

ご注意
- プラグを外すと水が出ますのでご注意下さい。
- プラグを外したときにパッキンも外れますので、なくさないようにご注意下さい。

ｂプラグを外したまま、本体を立てた状態に戻し、内部に残っている水を抜いて下さい。

※約１０分間放置して下さい。

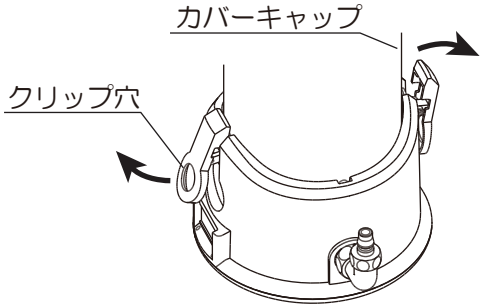


ご注意　凍りつく恐れのある場合も同様に、架台底のプラグ２個を外して、本体内の残留水を排水して下さい。

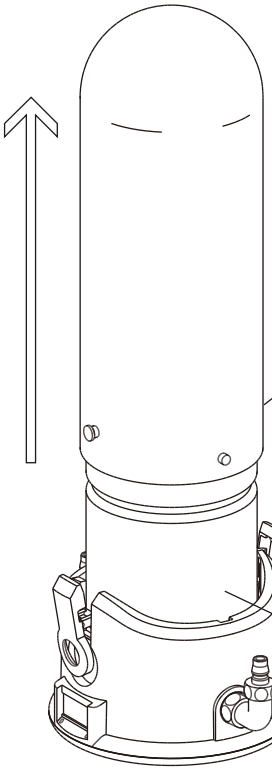
2

(3) カバーキャップを取り外します。

a 前後にあるクリップ穴を引き、カバーキャップからクリップを引き離します。



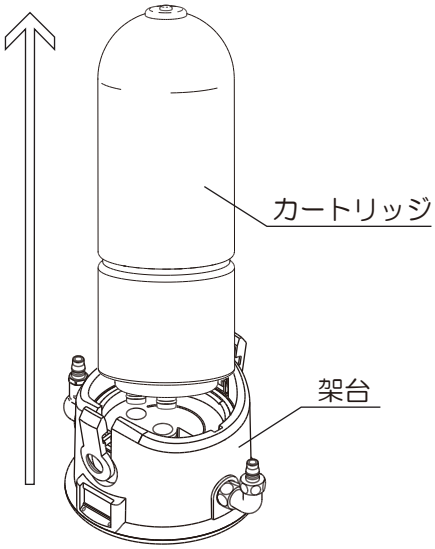
b カバーキャップを上へ持ち上げて外します。

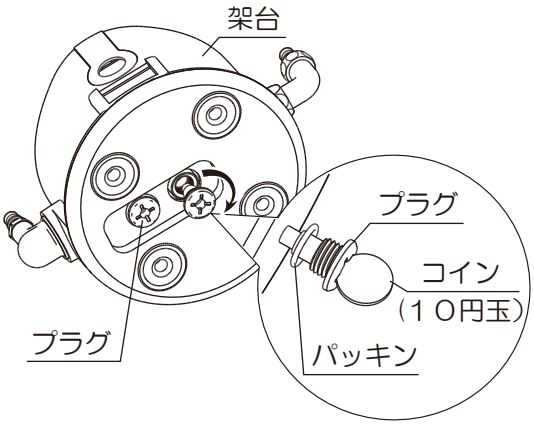


ご注意 このとき、カバーキャップがクリップに引っかかっていないか再度確認して下さい。

(4) カートリッジを持ち上げて外し架台底に外したプラグを取り付けます。

ご注意
- 残留水の排水が不十分な場合、カートリッジ内の水が漏れますのでご注意下さい。
- うまくカートリッジが外れない場合は架台を押さえながら、カートリッジを持ち上げ取り外して下さい。

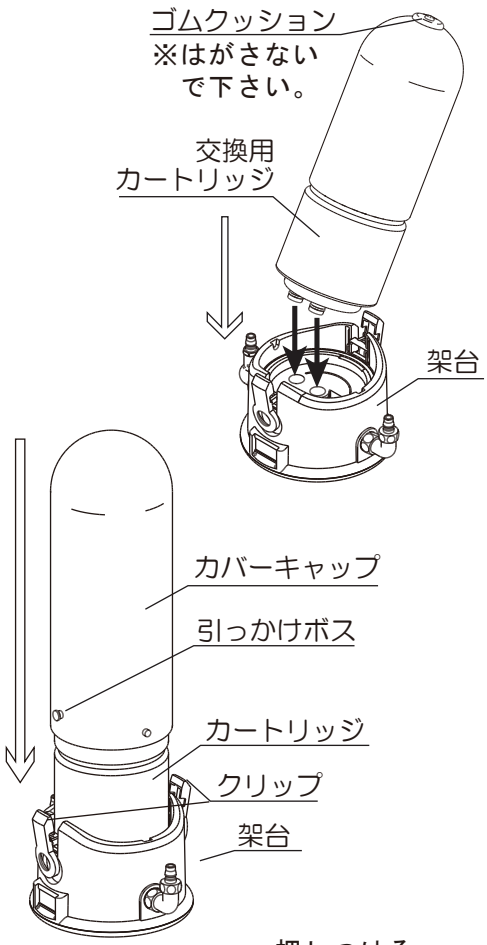




ご注意 外したプラグにパッキンがあることを再度確認してから取り付けて下さい。

新しい交換用のカートリッジを準備して下さい。

3



(5) 本体に交換用カートリッジを差し込みます。

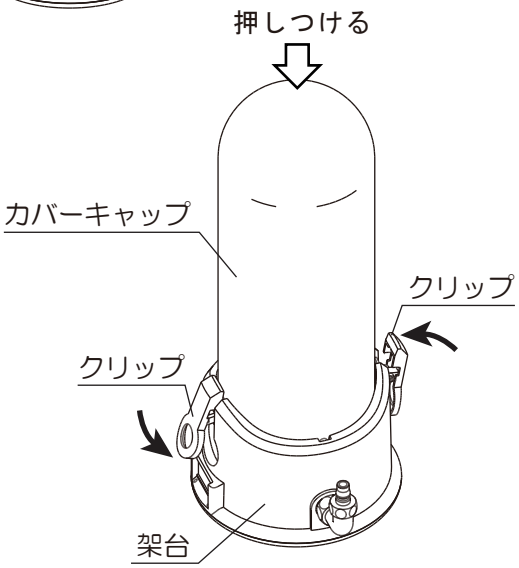
カートリッジ底の凸部と本体の丸穴を合わせて差し込み、その後上から軽く押さえて下さい。

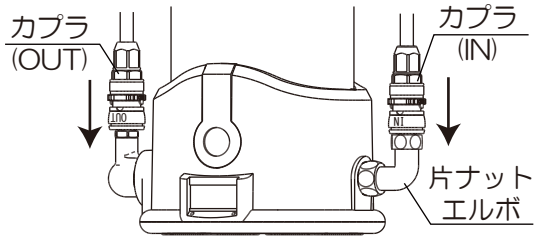
(6) カバーキャップをセットします。

カバーキャップの引っかけボスが架台のクリップ位置にくるようにセットして下さい。

(7) カバーキャップの上部を架台押しつけながら、架台についているクリップで固定して、カプラをセットして下さい。

IN／OUTのカプラを本体に差し込みます。

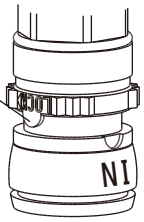




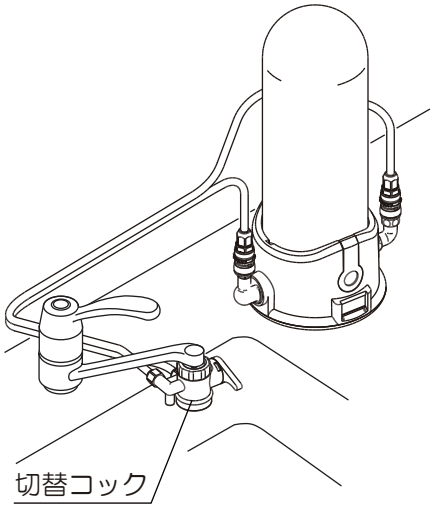
ご注意 本体に逆流防止弁が内蔵されておりカプラを逆に差し込むと活水できません。

セイフティロック

リングの凸部が、下リングの溝から９０度横になるように回して下さい。



4



（8）本体を元に戻して、捨て水をして下さい。

a：蛇口に取り付けた切替コックのレバー を活水にして、<u>蛇口を少し開けます。</u>

ご注意 このとき音が鳴り、初めは水が出ませんが故障ではありません。

b：切替コックから水が出たら蛇口を全開にして約２分間捨て水をして下さい。このとき、活性炭の黒い微粉がろ過水に若干混入することがあります。そのときは微粉が出なくなるまで（５分程度）通水して下さい。

《お願い》
カートリッジの交換後は蛇口を止めても、通水初期は浄水器内の空気が完全に抜ける（数日間）までは、止水までに若干の時間を要しますが、止水不良ではありません。

※交換後のカートリッジは、お住まいの不燃物処分方法にしたがって処分して下さい。

◆水の検査　（残留塩素測定試薬 使用）

これは、浄水された水が正常であるかを確認する検査です。

残留塩素測定試薬

確認方法

①コップに浄水後の水（約 50cc）を取ります。

②付属部品の残留塩素測定試薬を１袋加えます。

③かき混ぜて、無色透明であることを確認して下さい。
（判定は１分以内で行って下さい。）
残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。塩素が残留していると水はピンクに変色します。

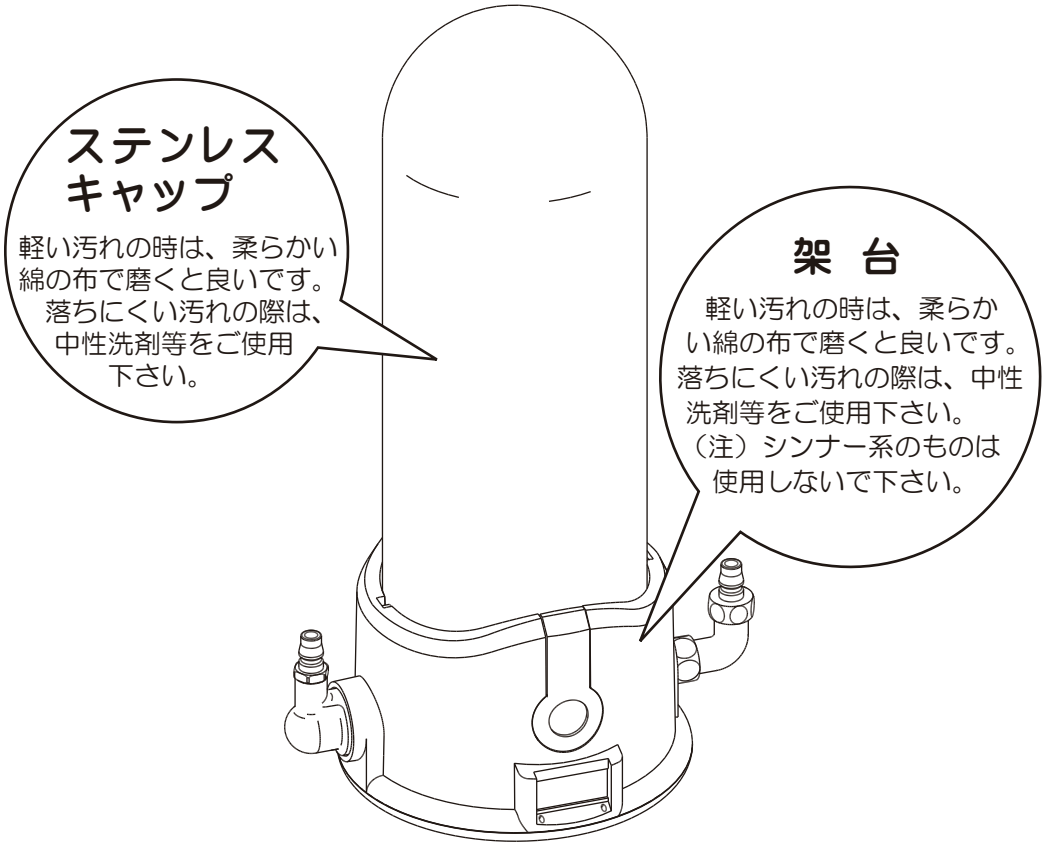
※但し、１分以上置くと残留塩素が無い状態でも変色します。ご注意下さい。

ご注意

- 試薬は直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい場所に保管して下さい。
- 品質保持のため、袋はご使用直前に開封して下さい。
- 試薬が変色したものはご使用にならないで下さい。（保管状態により、試薬が白色から変色してしまうことがあります。）
- 検査後のコップの水はすみやかに捨てて、コップはよく洗ってからご使用下さい。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意して下さい。
- 試薬が手や皮膚についた場合は、よく洗い流して下さい。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談下さい。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管して下さい。

ご家庭でできる簡単お手入れ

快適に末永くお使い頂くためのお手入れ方法です。



こんなときは

修理を依頼される前に確認して下さい

こんなときは	もう一度確認して下さい	解 決 方 法	参照ページ
架台から水漏れする	カートリッジの上にゴムクッションが付いていますか？	カートリッジ上のゴムクッションを剥がすと、通水時の水圧でカートリッジが浮いて水漏れしますので、ゴムクッションを付けておいて下さい。	3ページ(5)
	水道直結の接続をしていませんか？	水道に直結するとカートリッジが破損して水漏れが起きますので、必ず専用の切替コックに取り付けて下さい。	4ページ(8)
水が出ない又は、弱い	カートリッジを交換しましたか？	水道の水質により異なりますが、カートリッジ寿命付近になると、水の出が弱くなります。カートリッジの交換が必要ですので、販売店にご連絡して下さい。	
ろ過水に異物が混入する	切替コックの出水分を洗浄されましたか？	キッチンまわりは雑菌が繁殖しやすいので、定期的に出水部分をハブラシ等を使い、清潔に保って下さい。	5ページ

井戸水をご使用するときは、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用ください。

ご使用上の注意

（１）　使用水圧（動水圧）０.３５MPa 以内でご使用下さい。

（２）　凍りつく恐れのある場合は、本体内の残留水を排水（Ｐ１参照）して下さい。

（３）　井戸水等（水道水以外）に使用される場合は、必ずご相談下さい。

（４）　製氷器・湯沸かし器等には、連結しないで下さい。

（５）　ご使用温度は、５～５０℃にして下さい。熱湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますのでご注意願います。万が一、熱湯を通した場合、すぐに冷水で捨て水して下さい。

（６）　朝、最初に使う場合は、約４５秒間捨て水をして下さい。
２～３日使用されなかった場合は、約２分間位捨て水をして下さい。

（７）　近所で水道工事を行っている時には通水をしないで下さい。

（８）　金魚や熱帯魚には使用しないで下さい。
- 水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
- カートリッジの寿命付近はカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合、魚が死んでしまう恐れがあるため。

（９）　水の検査用残留塩素測定試薬は、劇物ですのでお子様の手の届かないところに保管願います。また、水の検査終了後のコップ等はよく洗って下さい。

（10）カートリッジ交換時に、ホース付の切替コックの交換（有償）を推奨します。
- 使用水にミネラル分が多く含まれている場合、給水ホース内面にミネラル分が付着蓄積し、蓄積物が剥がれて原水に混入することでカートリッジの寿命が短くなるのを防ぐため。
- 浄水された水は適度のミネラル分が含まれ、ホース内面にミネラル分が付着蓄積し、蓄積物が剥がれて浄水に混入する恐れがあるため。

■製造元　株式会社 エイ・シー・エム

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10
TEL. 03-3634-7373　FAX. 03-3634-7384

210719